



平成27年9月30日
第5号
杉並区立東原中学校

“厚く積み重ねられていく伝統”

校長 渡辺 宏

今年の9月は例年になく雨の日が多く、その影響により茨城県や栃木県では自然災害とはいえ、大変に痛ましい足跡が残されてしまいました。私も鬼怒川が氾濫し、住宅地や農地をあのよう呑み込んで行く映像がテレビのニュースから報道され続けることはほとんど記憶にありません。

その歴史的な9月も終わろうとしています。朝夕はかなり涼しくなり吹く風に秋の訪れを感じる季節となりましたが、日中はまだまだ残暑が厳しい日々が続いております。

8月27日(木)の始業式では、終業式の時と同じ元気な顔の生徒たちが整然とした姿で整列しており、スムーズな初日をスタートすることができました。夏季休業中に行われました“クリーン作戦、パワーアップ教室、水泳教室、部活動、天沼青少年育成委員会主催の野球大会等、充実した行事をこなすことができましたのは、「保護者や地域の皆さまの大きなご支援があればこそ」と感謝いたします。

8月1日(土)にセシオン杉並で開かれた「第3回生徒会サミット」では、昨年以上の内容で構成されました。本校代表の生徒会メンバーも立派に使命を果たし、これからの学校生活に還元されることが強く期待される姿勢でした。また、中学生の誠実で誠意ある正義感に心強さを抱くことができました。この「生徒会サミット」の「いじめについて、自分の手で撲滅を図る」という主旨は、東原フェスティバルで杉並第九小学校6年生に伝え、小中一貫のつながりの中で、継続して取り組めると思います。中学生の本気の姿勢に、小学生も耳を傾け、「ぜひ自分たちの学校でも賛同する」との考えに至ることができるのではないのでしょうか。

2学期はすでに様々な行事が行われ、生徒の意欲的な姿勢が見られました。まず、9月2日(水)は2年生対象の理科移動教室“カエルの解剖”です。科学館が使用できなくなったため、今年から自校に指導者の先生方をお招きして、理科室を使用した実験を行うことになりましたが、どの生徒も一生懸命に解剖に取り組み、指導者の先生方よりお褒めの言葉をいただきました。

3年生は9月3日(木)～5日(土)の期間、最後の宿泊行事である“京都・奈良”方面の修学旅行に取り組みました。“歴史と文化”の意義や目的とともに、3年間学校生活を過ごした仲間とのコミュニケーションの大切さを再認識する機会となりました。

2年生は9月7日(月)～11日(金)の期間、職場体験学習に取り組みました。普段の学校から離れ、職業に対する理解を深め、社会の一員としての在り方や自己理解、また、自らの資質向上をねらいとして、保育園や幼稚園、また、スーパーマーケット等の合計20の職場の協力を得て実施いたしました。

9月26日(土)は、保護者・地域の方々をお招きして、午前“東原フェスティバル”、&午後“東原音楽祭”が盛大に行われました。“東原フェスティバル”の舞台発表では、杉並区中学生小笠原自然体験交流等のこれまで学習してきました内容の発表があり、小学6年生にとっては中学1年生の学年合唱に大きなインパクトがあったようです。

このように、本校が大切にしている一つ一つの行事の取り組みの成果が、厚く積み重ねられていくことは生徒の確かな成長に大きくつながっておりますので、これまで同様、本校の教育活動にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

“活躍する原中生!!” ～部活動報告～

【バドミントン部】

7月に行われた杉並区のバドミントン選手権大会(男子会場：東田中学校 女子会場：本校)での、男子ダブルスにおいて、〇〇〇〇君・〇〇〇〇君ペアが優勝しました。また、8月の杉並区区民体育祭バドミントン競技での女子ダブルスで〇〇〇〇さん・〇〇〇さんペアが優勝しました。その後、8月末に行われた東京都私立中高協会第9支部総合競技大会においても団体戦中学男子の部で優勝、女子の部で3位と3年生最後の大会で有終の美を見事に飾ることができました。昇降口の展示ケースには、優勝カップ(バドミントン部で4つ)で溢れています。

【吹奏楽部・混声合唱団】

7月のNHK全国学校音楽コンクールには部員34名全員がそろって参加することができ、銅賞を受賞しました。その翌日にはTBS子ども音楽コンクールが行われました。合唱と吹奏楽の2部門に出演し、それぞれで優秀賞(3年ぶりのダブル受賞)という快挙を成し遂げました。

9月のオータムコンサートでは3年生が修学旅行のため1,2年生メンバーで初舞台となりました。軽快なリズムにのって、明るく透明感のある素敵なサウンドを奏でることができました。

“全国中学生人権作文コンテスト東京都大会” 学校代表作品をお知らせします!!

夏季休業中の課題として、人権作文を生徒全員に作成してもらいました。いじめや差別問題、戦争や平和について考えていることを上手に文章にまとめ、多くの力作が集まりました。難しいテーマについて、中学生としてしっかりと考えを持っていることに驚かされました。その中で学校代表として10作品に選ばれたものを紹介します。

No.	作品名	学年	氏名
1	いじめについて	3年	〇〇 〇〇〇
2	いじめ	3年	〇〇 〇〇
3	一人一人の「違い」	3年	〇〇 〇〇〇
4	身近な障害	2年	〇〇 〇〇
5	友人間のプライバシーについて	2年	〇〇 〇〇
6	エイズについて	2年	〇〇 〇
7	いじめで傷付くのは一人じゃない	1年	〇〇 〇〇
8	エポニー・アンド・アイボリー ～人種差別について考える～	1年	〇〇 〇〇
9	身近に潜む悪の種	1年	〇〇 〇〇〇
10	差別を無くすための努力	1年	〇〇 〇〇

“猛暑の中！ 東原中代表野球チーム 奮闘しました!!”

～天沼地域少年野球大会～

夏休み中の8月1日に天沼地域少年野球大会に行われました。野球部員2人と有志のメンバー11人で合計13人のチームが結成することができました。猛暑の中、守備やバッティング練習をして大会に臨みました。敗れはしたものの心に残る良い思い出となりました。また、お手伝いとして女子ボランティアが10人も集まって大会運営に協力してくれました。ありがとうございました。

